

# 安全管理

## －平成 25 年度クレーン年次点検報告－

### 技術部クレーン点検 WG

#### 1 はじめに

技術部クレーン点検WGでは、クレーンの使用状況に応じて定期自主点検（月次・年次）を実施している。しかし、走行レールなどの高所点検では、点検時のリスクが高く、各種部品の経年劣化については、経験不足により良否判断が困難な状況にある。前述の状況より、平成 25 年度も工学部安全・環境保全委員会にて、クレーンの年次点検費を確保いただき、WGにて使用頻度などを考慮し、以下の 2 台のクレーンについて、専門業者による年次点検を実施したので報告する。

#### 2 年次点検結果

○自然科学研究科実験棟 環境防災実験室

・東洋ホスト YH-28H ET-77（定格荷重 2.8t）

・立会者：戸田（技術部クレーン点検 WG）、池崎（技術部クレーン点検 WG）

点検結果：問題なし



写真 1 高所作業装置による点検

○工学部研究実験棟 I 構造材料実験室

・日立ホスト 2.8LS-TS55（定格荷重 2.8t）

・立会者：戸田（技術部クレーン点検 WG）、池崎（技術部クレーン点検 WG）

点検結果：問題なし



写真 2 走行レールの点検

#### 3 おわりに

今回の年次点検では、2 台のクレーンに問題は無かった。点検したクレーンは、いずれも使用頻度が高く、吊り荷重も大きいことから、この点検結果に対し、使用者および月次など日常的に点検を実施しているクレーン点検WGにとって重要な意味がある。なお、専門業者による点検はこれまでも継続して実施しており、また、点検業者および点検者は同一である。よって、過去の状態（状況）を熟知しており、所有するクレーンに応じた適切な点検が行われる点はメリットが多く、部品などの経年劣化への判断、対応も的確である。

クレーンは人力では動かせないものを動かす機械であるため、使用者や点検者にとってリスクが高く、精神的な負荷も大きい。このようなリスクおよび精神的な負荷低減のためにも、次年度以降も専門業者による点検の実施を委員会に対して要望し、WGにおいても適切な点検実施および点検技術の向上に努めていく。

文責 クレーン点検WG 戸田善統